学校番号	３１５

令和２年度　地歴科

教科	地理歴史	科目	世界史Ａ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	新訂版「新世界史Ａ」　（実教出版）						
副教材等	ニューステージ世界史詳覧　（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

①　現代とのつながりから歴史的事象に興味・関心を持たせる。
②　世界各国の歴史を他地域の関係もふまえて、文章や資料を通して感じさせる。
③　歴史を背景とし、世界各国と日本のつながりや異文化理解について考える。

2　学習の到達目標

①　図版や写真をみて、歴史的考察力や思考力を養う。
②　近現代史を中心とする歴史を学び、歴史的観点から現代の問題と過去との問題の関係性について考察する力を養う。
③　世界の歴史を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	近現代史を中心とする世界の歴史に対する興味･関心と課題意識を自ら探求するとともに､国際社会に主体的に行き国家･社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。	現代世界の諸課題を中心に歴史的観点から考察し､国際社会の変化を踏まえ公正に判断して､その過程や結果を適切に表現している。	近現代史を中心とする世界の歴史に関する諸資料を収集、分析、考察し、有用な情報を正しく理解して、整理している。	近現代史を中心とする世界歴史の人物、事件、事項についての基本的な事柄を正しく理解し、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身につけている。
評価方法	ワークシート レポート	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	ユーラシアの諸文明と交流	・文明のはじまり ・ユーラシア諸文明の特質 ・ユーラシアの交流	 ○	○ ○ 	 ○ ○	○ 	a:ユーラシア各地に形成された諸文明の特質と、ユーラシアの交流について関心を高め、意欲的に探求しようとしている。 b:ユーラシア諸文明の特質を見出し、地域世界相互の文化変容などと関連付けながら多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:必要な諸資料を理解、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:ユーラシア各地に形成された諸文明と交流の特質について理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート
	結びつく世界と日本	・世界の一体化の第一歩 ・ルネサンスと宗教改革 ・ヨーロッパの主権国家体制 ・アジアの繁栄 ・世界経済体制の形成	○ ○ 	 ○ ○ ○	○ ○	 ○ ○ 	a:領土拡大に伴い、ヨーロッパの海外進出、ルネサンス、宗教改革など国内の文化・宗教の動き、ヨーロッパの主権国家体制の成立、アジアの諸帝国の繁栄などに対する関心を高め、意欲的に追及する。 b:設定された時代の諸地域の特質を見出し、貿易、産業の進展などに関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:設定された時代に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 d:新航路の開拓、発見におけるヨーロッパの海外進出、ルネサンスや宗教改革などの西欧の動き、ヨーロッパの主権国家体制の成立、アジアの諸帝国の繁栄について理解し、その知識を身につける。	定期考査 ワークシート

2学期	一九世紀の世界の一体化と日本	・産業革命と工業化社会の成立 ・アメリカ独立戦争 ・フランス革命とナポレオン戦争 ・ウィーン体制とその崩壊 ・ヨーロッパ国民国家の発展 ・アジア・アフリカ・ラテンアメリカの変動 ・東アジアの変容と日本の近代化	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a:市民革命期の諸地域世界の様子について、社会の変化と新たな社会の成立、ヨーロッパの進出によるアジア・アフリカ・ラテンアメリカの変貌に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b: 市民革命期の諸地域世界の変貌の特質を見出し、１９世紀の世界の一体化と関連付けて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している c: 市民革命期の諸地域世界の変貌に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 d: 市民革命期の諸地域世界の変貌についての基本的な事柄を１９世紀の世界と関連付けて理解し、その知識を身につける。	定期考査 ワークシート
	2つの世界大戦	・激変する社会と帝国主義 ・第1次世界大戦とロシア革命 ・戦間期のヨーロッパとアメリカ ・民族運動の高まり ・第2次世界大戦	 ○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ 	○ ○ ○ 	a:19世紀末から20世紀初頭に見られた社会の急激な変化や、二つの世界大戦の原因や影響と平和の意義などに対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:20 世紀初頭に見られた社会の急激な変化の具体的な様相や、二つの世界大戦の原因や影響と平和の意義について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している c:20 世紀という時代の特質、二つの世界大戦の原因や総力戦としての性格、に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 d: 20 世紀という時代の特質、二つの世界大戦の原因や総力戦としての性格についての基本的な事柄を、両大戦の影響と平和の意義などと関連付けて理解し、その知識を身につける。	

3学期	第二次世界大戦後の世界と日本	・冷たい戦争 ・アジア・アフリカ諸国の独立と混乱 ・多極化の進展と冷戦体制の崩壊 ・現代の世界	 ○ ○	○ ○	○ ○	 ○ ○	a:第二次世界大戦後の諸地域世界について、現在まで続く課題に対する理解し、興味関心を高め、意欲的に追求しようとしている。 b: 第二次世界大戦後の諸地域世界について、現在の政治・経済の動向と関連付けて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している c: 第二次世界大戦後の諸地域世界の問題などに関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 d: 第二次世界大戦後の諸地域世界についての基本的な事柄を、世界の政治・経済の動向と関連付けて理解し、その知識を身につける。	定期考査 ワークシート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。